

第5回 Introducing business companies

ものをつくる。ひとを育てる。

さまざまな魅力あふれる町内の企業や事業所の仕事内容などについて紹介します。  
 ■問い合わせ先…観光商工課 ☎46-5572

株式会社国際自動車教習所  
 「平泉ドライビングスクール」

- 所在地…平泉字宿21-3
- 代表者…代表取締役 田村満
- 従業員数…35人
- 創業…1965年12月
- 会社概要



私たちのモットーは「出会い」「めぐりあい」を大切にし、そしてそれらに喜びを感じることで。

平泉ドライビングスクールでは、皆さまに快適に教習を受けてもらえるように、昨年11月に落ち着いた雰囲気のある校舎にリニューアルしました。また教習のスケジュールは、予約の手間が省けるように皆さまの希望に合わせて一括で予約を取っています。

教習面では、しっかりと運転技術や知識を学んでもらえるように最新の教材などを導入して、楽しく快適に通えるように改善を繰り返しています。

「教習所はどこも同じ」ではありません。結果として手にするものは運転免許証ですが、その過程は、環境・設備・スタッフにより大きく変わってきます。

平泉ドライビングスクールでは、教習生活が「一生の良い思い出」となってもらえるように、日々業務に取り組んでいます。

- 問い合わせ先…☎46-2134 ☎46-5407
- URL <http://hiraizumi.si-dsg.com/>
- 電子メール [hiraizumi@lily.ocn.ne.jp](mailto:hiraizumi@lily.ocn.ne.jp)

Interview

丈夫で強い安全の種をまく



副管理者 営業係長 関 清貴さん

当社は社会的にも高く評価される社内文化を持つ企業として、「小さな一流企業」を目指しています。

私たちのビジネスは高度なサービス業であり、私たちの教育が人の生き死にを決定づけてしまいます。地域の人たちを交通の惨禍から少しでも遠ざけるため、「どうすれば安全な運転ができるのか」をお客さまにしっかりと伝えることが大切だと考えています。お客さまの心の中に「安全」という丈夫できれいな花が咲くように、これからも丈夫で強い安全の種をまいていきます。



落ち着いた雰囲気のロビー

最新の教材で指導

放射線量などの測定状況

- 問い合わせ先
- ▷放射線全般…放射線対策室 ☎46-2125
- ▷米・農産物測定…農林振興課 ☎46-5564
- ▷給食食材測定…教育委員会 ☎46-5576

＜9月の定点地点放射線量測定結果＞

毎月測定している公民館・小学校などの定点地点(町内33カ所)の空間放射線量測定結果については、全測定地点において、国の除染基準である0.23マイクロシーベルト/時を超える地点はありませんでした。

＜学校給食食材の測定結果＞

学校や保育所で使用・提供される給食食材や給食の放射性セシウムを測定した結果、全ての食材、学校給食で不検出の結果となりましたので、安全が確認されています。

▷測定日は8月17日～9月13日

＜平成29年町産米の放射能物質検査の結果＞

町では、県・JAと連携し、町内1地点で米の放射性物質の検査を実施しました。検査結果については、下記のとおりで、放射性セシウムは検出されませんでした。この結果により、本年産米の出荷・販売・譲渡が可能となります。

採取場所(地域)	測定結果(単位:ベクレル/kg)		
	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計値
平泉	不検出(<3.2)	不検出(<3.8)	不検出(<6.9)

- ▷作物名は玄米、採取日は9月11日
- ▷食品衛生法上の一般食品の基準値はセシウム134と137の合計値が100ベクレル/kg
- ▷検査は一般財団法人東京顕微鏡院で実施し、測定機器はゲルマニウム半導体検出器を使用
- ▷測定値欄のカッコ内は検出限界値を表示



平成28年度 財政健全化の指標

1) 財政健全化判断比率

区分	平泉町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	9.3%	25.00%	35.00%
将来負担比率	48.9%	350.00%	—

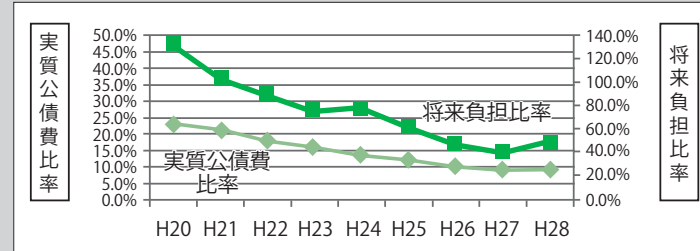
※表中の各基準値は国が示した数値です。  
 ※赤字額がない場合は「—」で表しています。

2) 資金不足比率

特別会計などの名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00%
簡易水道事業会計	—	20.00%
下水道事業会計	—	20.00%
農業集落排水事業会計	—	20.00%

※表中の各基準値は国が示した数値です。  
 ※資金不足がない場合は「—」で表しています。

3) 実質公債費比率と将来負担比率の推移



財政状況

健全化基準をクリア

財政状況が良好かを示す指標に財政健全化判断比率と資金不足比率があります。国が示すこの指標の判断基準によって町の財政が「健全団体」「早期健全化団体」「財政再生団体」のいずれの状況にあるか、また各会計の経営状態はどうか判断すること

ができます。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法律で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。町では、基準を超える項目はなく、財政は健全であるといえますが、引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

- ▶実質赤字比率とは…福祉や教育など一般会計などの赤字の程度を示す割合
- ▶連結実質赤字比率とは…全ての会計(一般会計や特別会計など)の赤字の程度を示す割合
- ▶実質公債費比率とは…一般会計などが負担する町債償還金や特別会計の起債償還に充てた一般会計繰出金などの資金繰りの程度を示す割合(3カ年平均)
- ▶将来負担比率とは…一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の可能性の程度を示す割合
- ▶資金不足比率とは…公営企業会計ごとの資金の不足額の度合いを表す指標。経営状態の悪化の度合いを示す指標とも言えます。

借金、積立金は減少

町の地方債(借金)の現在高は、平成28年度末88億730万円、ピークであった平成16年度末(121億1379万円)と比較して33億649万円減少しています。平成28年度末現在高のうち、地方交付税で補填される借金(44億8336万円)や水道使用料や住宅使用料で賄われる借金(10億782万円)を差し引くと正味の借金は32億5112万円となります。この借金は、学校改築、道路改良、住宅建設、災害復旧など町民の皆さんの生活に密着したものであり、長期間使用するものであり無駄なものはありません。一方、基金積立金(貯金)の現在高は19億9318万円、道の駅建設による基金の取り崩しなどにより、前年度末(21億4955万円)と比較して1億5637万円減少しています。

平成28年度末地方債現在高

会計	地方債現在高
一般会計	46億8117万円
下水道事業会計	21億5205万円
農業集落排水事業会計	5億8719万円
簡易水道事業会計	4億8150万円
上水道会計	9億539万円
合計	88億730万円

